

漁業資源開発調査

川崎 一 男

1. 目的および内容

未利用資源およびマチ類の漁場開発を目的として、昭和56年度東支那海大陸棚斜面域の海底地形調査を実施した。その結果に基づいて昭和57年度に底魚漁場調査を行い、キダイ、ハマダイ、チカメキントキ、ハナフエダイ、ハチビキ等の有用魚種が確認された。その後レンコダイ等を対象としてカゴ網による調査を行い、その漁場分布とその他カニ類等の有用資源開発の可能性が示唆された。

今年度は、上記底魚漁場調査の中で量的には多獲されてないが、有用魚種の1つであり、大型魚となるアラに着目し、東支那海大陸棚斜面域におけるその漁場分布とその他の有用資源の開発を目的として調査を行った。

昭和63年度は4航海(35回操業)を実施した。有用魚種としてアラ、ハマダイ、ハチビキ、ムツ、キダイ、カサゴ、メダイ等が漁獲された。有用魚種の釣獲率は海丘で6.4%と最も高く、次いで大陸棚西部3.3%、与那国西2.8%、大陸棚東部2.4%であった。アラの平均釣獲率は0.2~0.6%であったが、10尾以上(1%以上)の釣獲率を示す海域が与那国西で2カ所、海丘で2ヶ所、大陸棚斜面で2ヶ所みられた。

2. 調査方法

調査船図南丸216.09トンを使用し、東支那海大陸棚斜面域および与那国西海域における調査を行った。これまでの同海域での調査は200m等深線を中心として実施されてきたが、今年度は200m以深800mの範囲の水深帯で行った。

漁具は底魚漁場調査と同一の底立延縄を使用した(1組の構成は10本付立縄を40m間隔に100本連結)。餌は松イカを短冊切りにして使用した。

揚縄は投縄終了後1時間半おいて行った。できるだけ釣針ごとに漁獲物をチェックし、アラの釣針別釣獲率の資料とした。漁獲物は船上で体長体重を全数測定(サメ類については体長だけ測定した種もある)し氷蔵にした。

3. 結 果

(1) 第1次航海 調査期間 88年7月14日~7月23日

調査海域および操業状況を図1-1~2、表1-1~2に示した。9海域で12回の操業を行ったが、今航海中台風の発生があり、途中沖縄本島北西海域でムツ、キンメダイの調査を行った(操業No.5~No.10)。

東支那海では6回操業し、アラ24尾が漁獲された。海丘では2回操業し水深370~400mで16尾、大陸棚斜面域では4回操業し、水深360~500mで8尾であった。最も多く漁獲された海域は海丘の操業No.2で14尾/回(67.6kg)であった。

アラの体長範囲は59~74cmで、体重3.3~6.9kgで平均5kg前後であった(図2~3)。
 その他の有用魚種としてはムツ47尾、カサゴ91尾等であった。

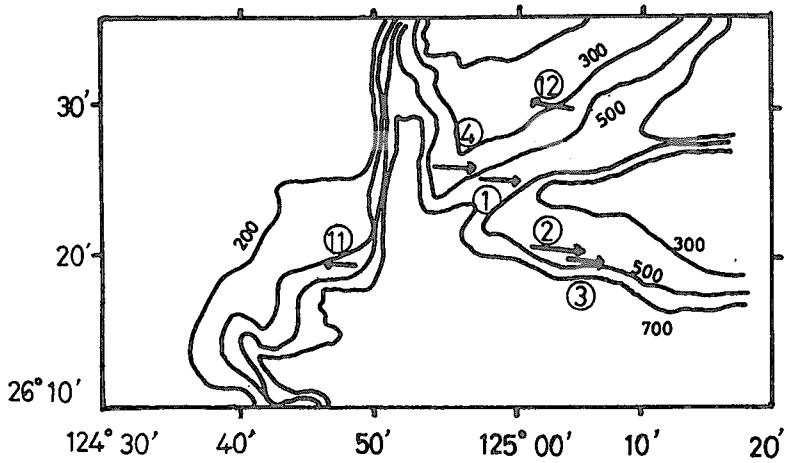


図-1-1 第1次航海操業位置図

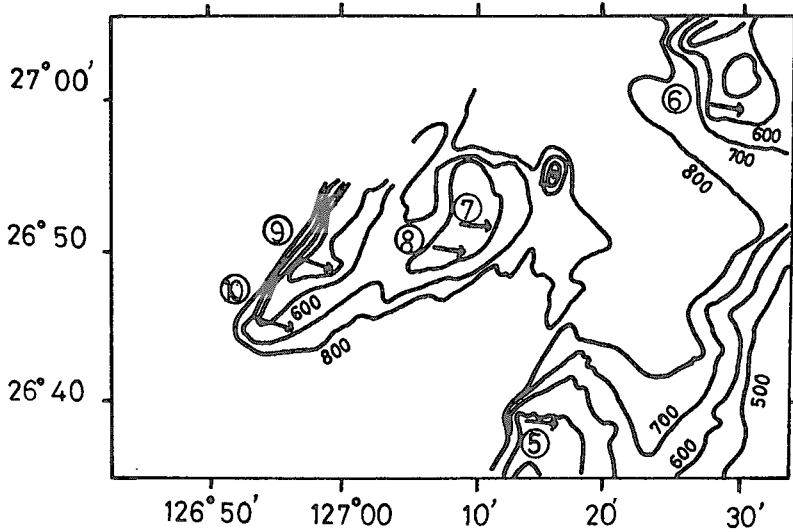


図-1-2 第1次航海操業位置図

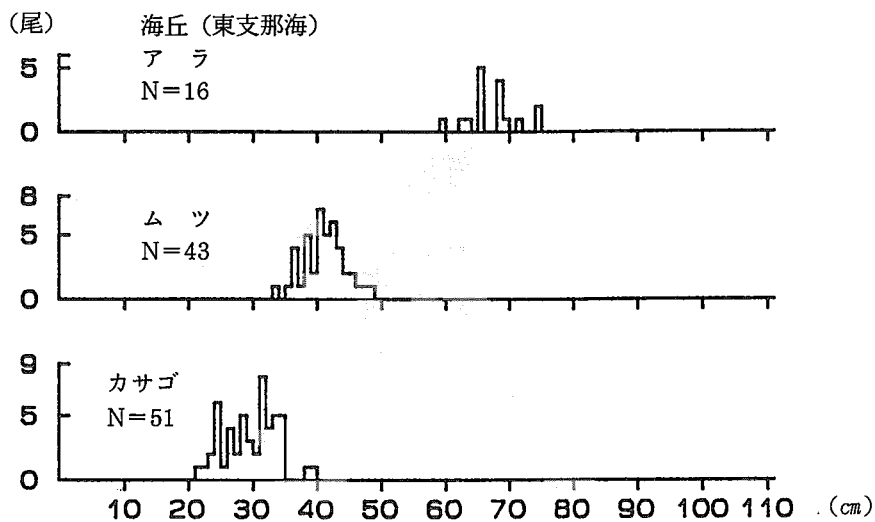


図-2 第1次航海漁獲物体長組成

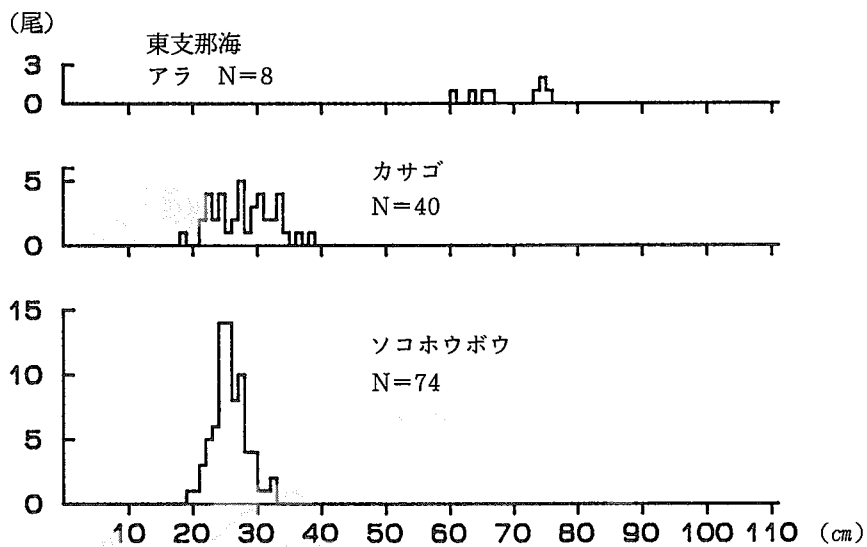


図-3 第1次航海漁獲物体長組成

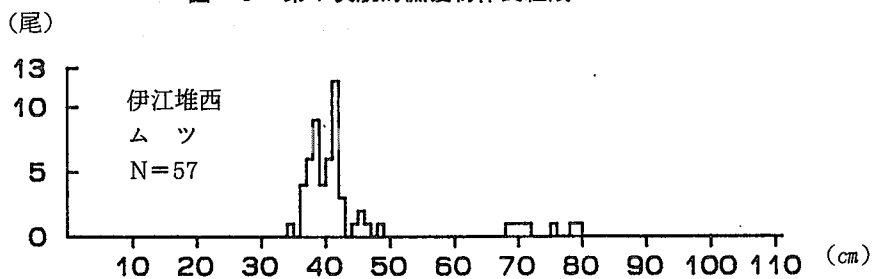


図-4 第1次航海漁獲物体長組成

(2) 第2次航海 調査期間 88年9月6日～9月15日

海丘で4回、大陸棚斜面西部で10回の操業を行った(図5-1～2)。操業結果を表2-1～2に示した。アラの漁獲は海丘で28尾、大陸棚斜面域で17尾の計45尾(187.3 kg)であった。海丘では1操業1～12尾で平均7尾、大陸棚斜面域では0～12尾で平均1.7尾となった。海丘での漁獲水深帯は275～460 mで、最も多く漁獲された水深帯は290～350 m、大陸棚斜面域では270～500 mで漁獲され、多獲水深帯は285～350 mであった。

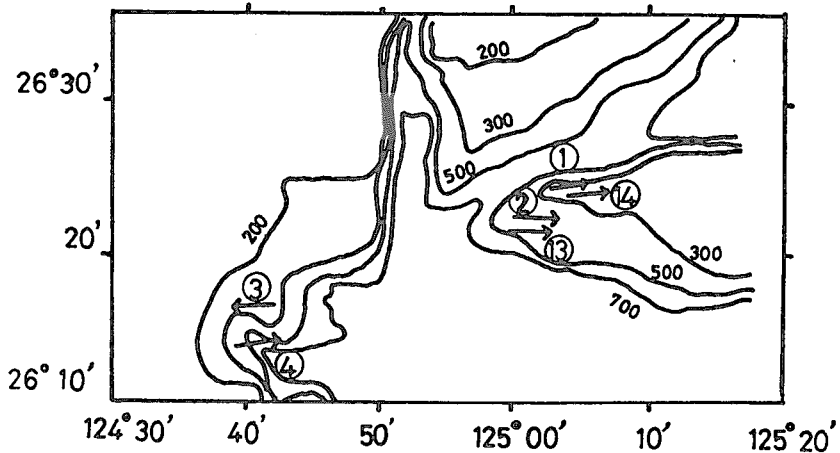


図-5-1 第2次航海操業位置図

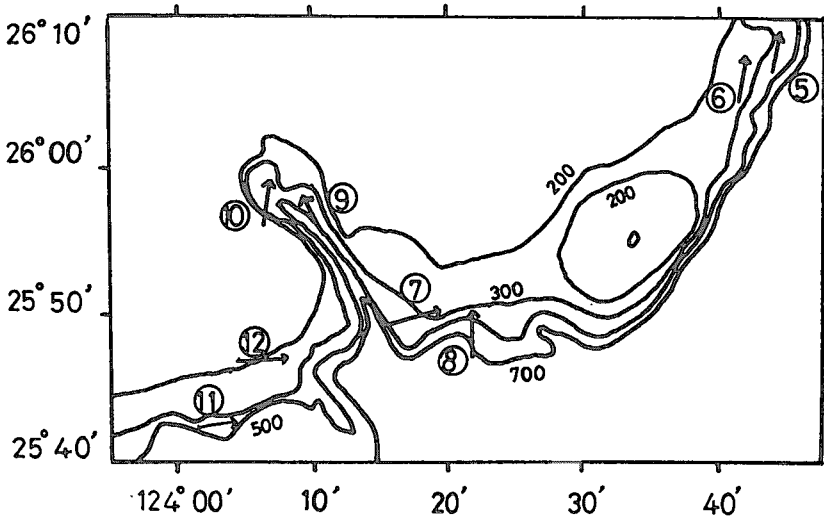


図-5-2 第2次航海操業位置図

アラの体長範囲は39~81cm、体重0.8~8.2kgとなっており、7月には漁獲されなかった体長60cm以下の小型サイズが海丘において漁獲されている(図6~7)。

その他の有用魚種として海丘では、ムツ、ハチビキ、メダイ、ユメカサゴが、また大陸棚斜面域ではハマダイ、シマアオダイ、キダイ、ユメカサゴ、ハナフエダイ等が漁獲された。

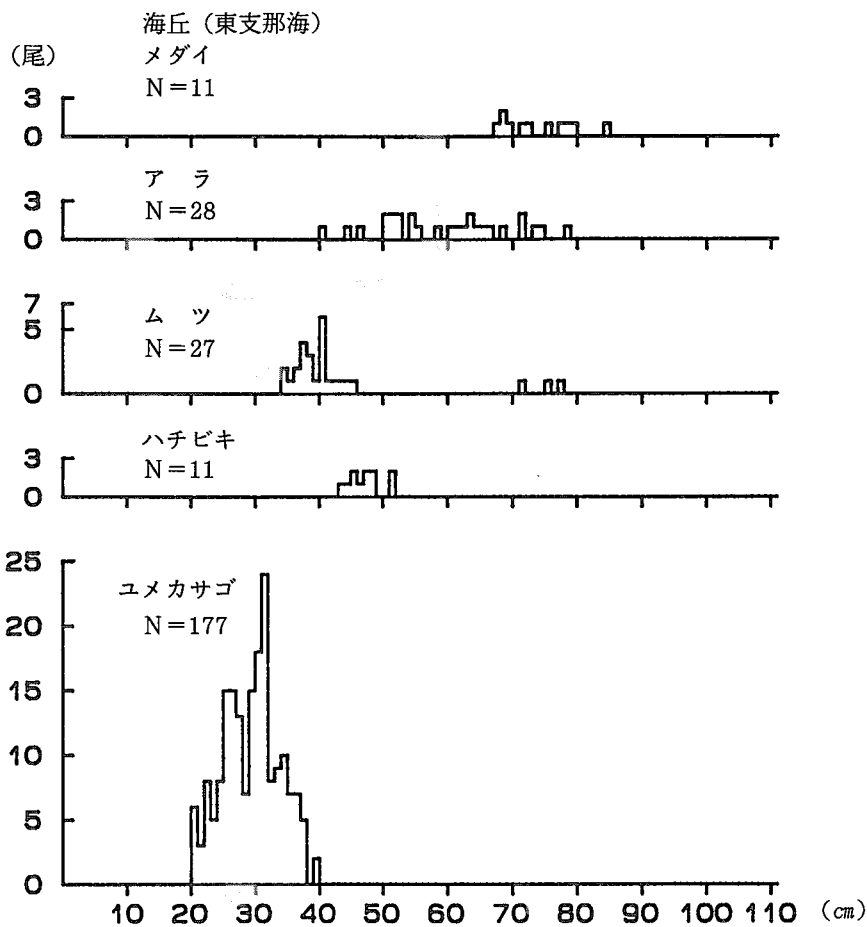


図-6 第2次航海漁獲物体長組成

(3) 第3次航海 調査期間 88年10月17日~10月28日

調査期間前半および後半に時化が続いたため与那国南で1回(ムツ、キンメダイを対象)、与那国西で5回の操業であった(図8)。

アラが漁獲された海域は図8の操業No.2、No.3、No.6であった。この海域は大陸棚斜面海域から東へ舌状に等深線が延長し、600mから急深となる地形である。その最浅部は450m程度で平坦な台地を形成する。底質は泥質帯となっている。

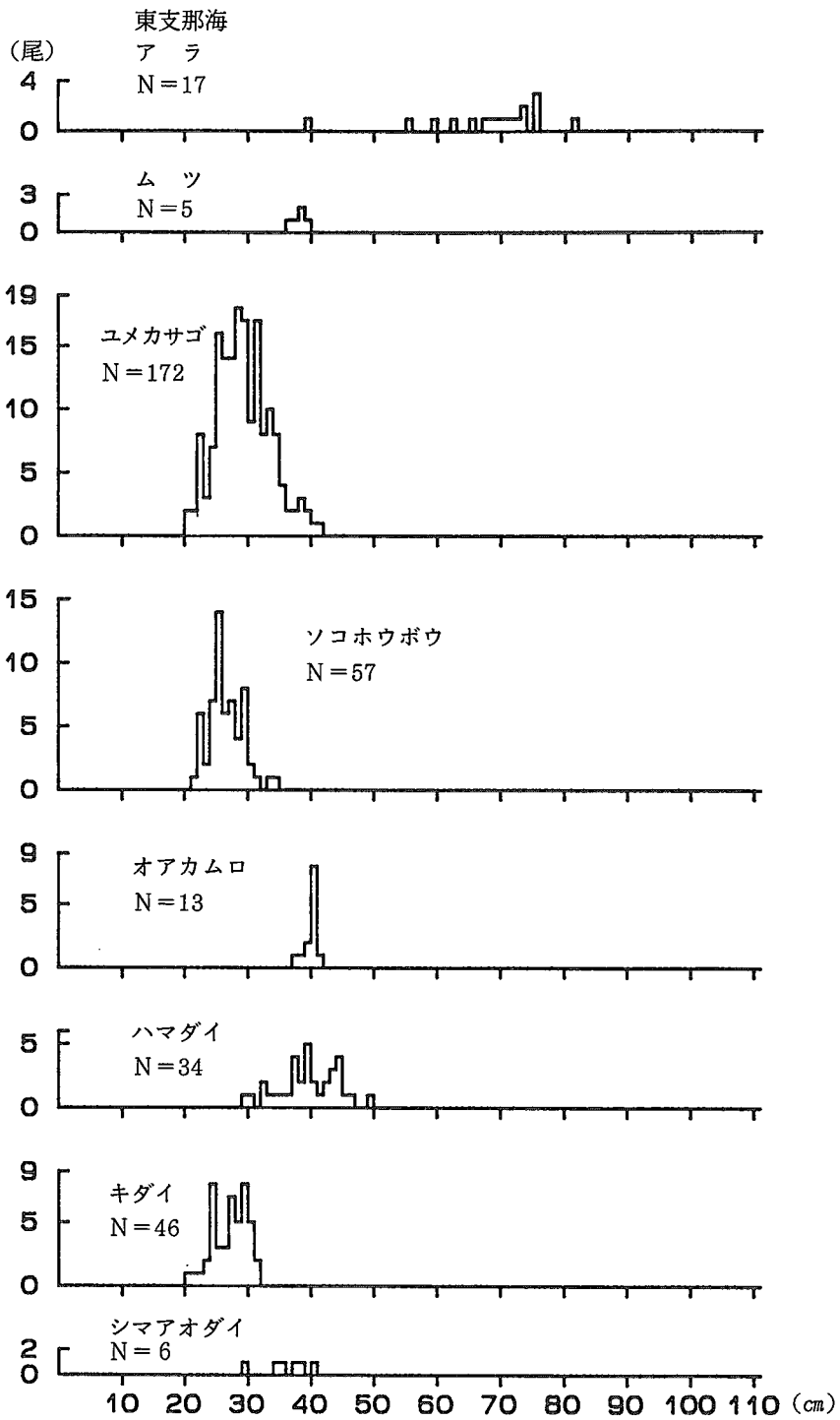


図-7 第2次航海漁獲物体長組成

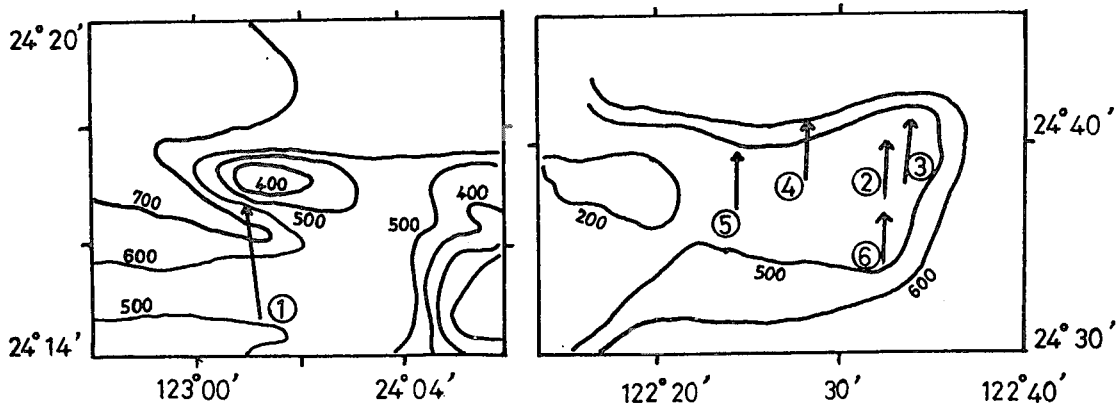


図-8 第3次航海操業位置図

魚種組成はアラ、カサゴ類の有用種以外はギンメダイ、ソコダラ類、フジクジラ等で少数で構成されている。

アラは舌状部の東端部で漁獲され、中央部から西では漁獲されていない。漁獲尾数は3～17尾で計30尾(152.3 kg)であった。

体長組成は図9に示したとおり54cm(2.2 kg)～79cm(7.2 kg)で67cm(5 kg)以上の個体が57%を占め、平均体重は5 kgであった。

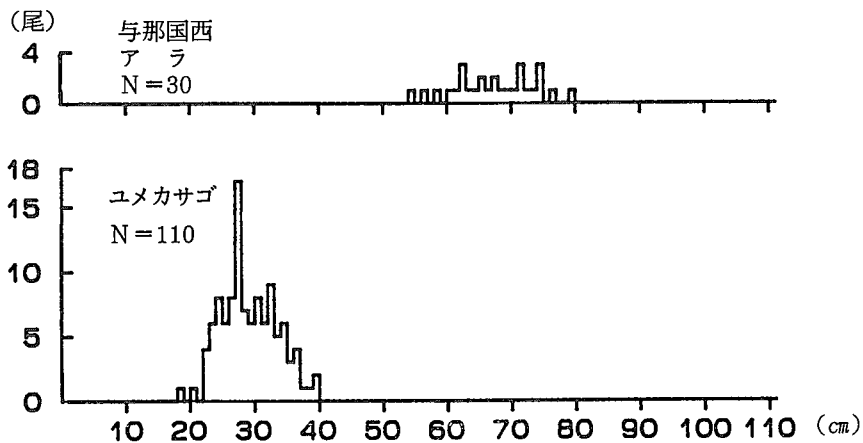


図-9 第3次航海漁獲物体長組成

(4) 第4次航海 調査期間 88年12月19日～12月25日

大陸棚斜面東部で4回、海丘で6回の計10回操業を行った(図10)。アラの漁獲は大陸棚斜面の3カ所で20尾、海丘の3カ所で9尾の計29尾であった。大陸棚斜面での漁獲水深帯は210～340 mで210～240 mの水深帯(No.3)で13尾と多獲された。海丘では260～285 mの南西側斜面域(No.5、No.6、No.8)で漁獲された。底質は泥および砂泥質である。

アラの体長組成は図11~12に示すように大陸棚斜面域では44 (1.1 kg) ~70cm (5.1 kg) で60cm以下の小型魚が70%を占め、海丘では45 (1.3 kg) ~72cm (6.5 kg) で60cm以上の個体が約70%であった。

その他の有用魚種として、カサゴ、ハマダイ、ムツ、ハチビキ、キダイ、オアカムロ等が漁獲された。ハマダイの体長は26cm (0.3 kg) ~61cm (3.5 kg) で50cm (2 kg) 以下の小型魚が81.6%を占めている。

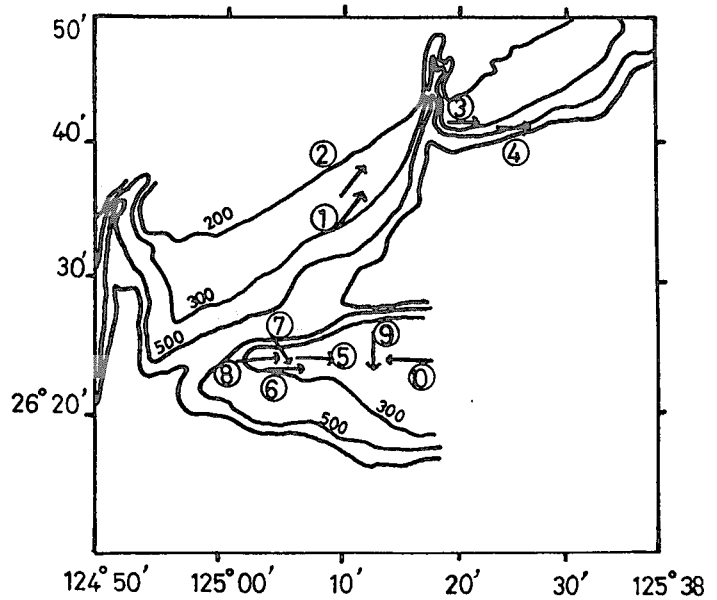


図-10 第4次航海操業位置図

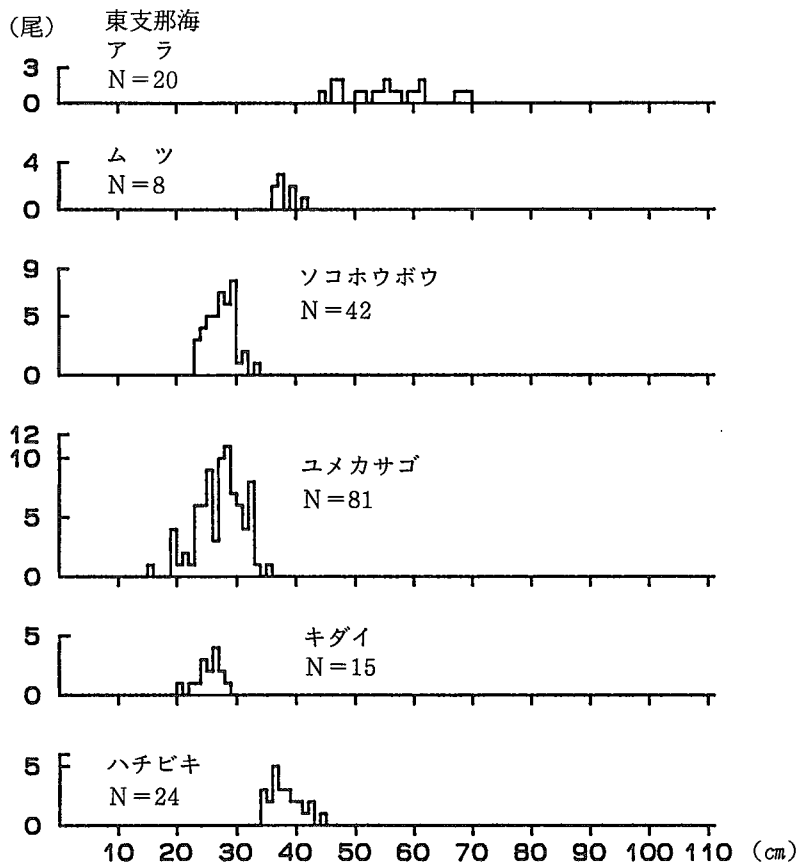


図-11 第4次航海漁獲物体長組成

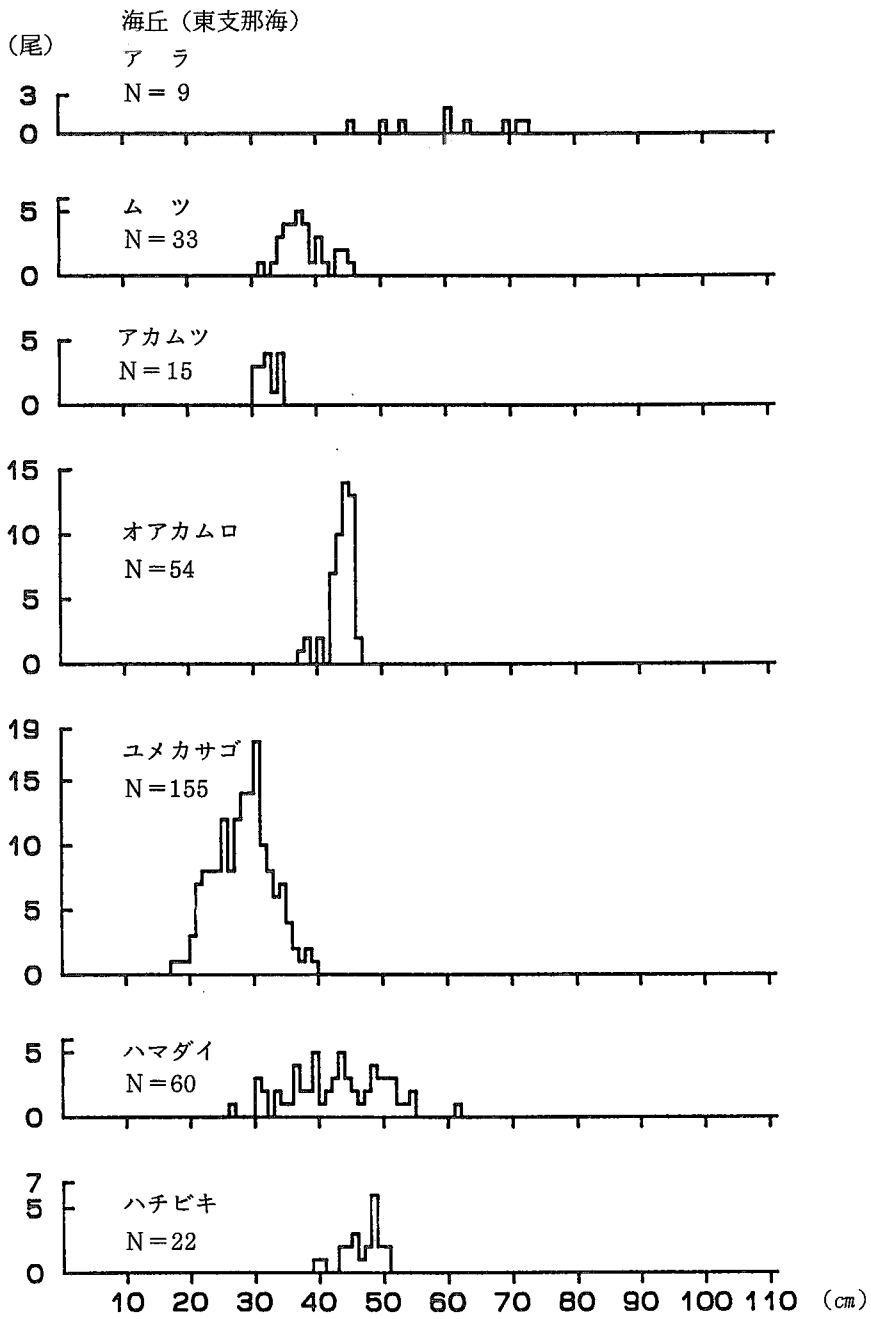


図-12 第4次航海漁獲物体長組成

4. 考 察

東支那海大陸棚斜面で4航海35回操業を行った。その結果を表5の漁獲状況一覧表に示した。便宜上、大陸棚斜面域を東経125°線附近を境いに西部および東部に区分した。また、大陸棚より若干離れて位置する曽根を海丘とし、与那国西を含む4漁場区分としてまとめた。

表-5 漁業資源調査漁獲一覧表

魚種	漁場	東支那海西部	東支那海東部	海 丘	与那国西	計
ハチビキ		1 (0.3)	24 (17.3)	34 (48.5)		59 (66.6)
ム ツ		8 (5.9)	99 (7.8)	103 (100.4)	1 (0.9)	121 (114.1)
アカムツ		5 (3.6)	2 (1.4)	27 (13.3)		34 (18.3)
キンメダイ				1 (3.4)		1 (3.4)
ア ラ		19 (106.1)	26 (81.2)	53 (204.4)	30 (152.8)	128 (544.5)
ハマダイ		34 (31.9)		62 (77.6)		96 (109.5)
ハチジョウアカムツ		1 (2.0)				1 (2.0)
シマアオダイ		6 (5.0)				6 (5.0)
ハナフエダイ		16 (6.2)		5 (1.9)		21 (8.1)
キ ダ イ		48 (20.6)	15 (4.9)			63 (25.5)
メ ダ イ				11 (66.9)		11 (66.9)
ツボダイ				4 (1.1)		4 (1.1)
カンパチ類		1 (3.7)				1 (3.7)
アマダイ類		4 (1.7)				4 (1.7)
ハナダイ類				1 (1.7)		1 (1.7)
イトウダイ類			1 (2.0)			1 (2.0)
キントキダイ類		2 (0.8)	2 (2.1)	8 (9.3)		12 (12.2)
オアカムロ		13 (8.3)		50 (41.3)		63 (49.6)
マ ハ タ		1 (2.1)	1 (13.5)			2 (15.6)
カ サ ゴ		204 (77.7)	90 (31.1)	407 (157.5)	110 (44.6)	811 (310.9)
アイザメ		2 (4.9)				2 (4.9)
そ の 他		359	289	557	136	1,341 (-)
合 計		724	459	1,323	277	2,783 (-)
有用魚種		365 (281.3)	170 (161.3)	766 (727.3)	141 (198.3)	1,442 (1368.2)
釣 獲 率		3.3 %	2.4 %	6.4 %	2.8 %	12
ア ラ		19 (106.1)	26 (81.2)	53 (204.4)	30 (152.8)	128 (544.5)
釣 獲 率		0.2 (0-1.2) %	0.4 (0-1.3) %	0.4 (0-1.4) %	0.6 (0-1.7) %	
操業回数		11	7	12	5	

全漁獲尾数は2,783尾でサメ類、ソコホウボウ等を除く有用魚種は1,442尾で51.8%であった。有用魚種の中ではカサゴが811尾と最も多く56.2%を占めている。次いでアラが128尾で8.9%、ムツ121尾、8.4%、ハマダイ96尾、6.7%、キダイ63尾、4.3%、ハチビキ59尾、4.1%の順となっている。このことは必ずしもこの海域の種組成を示すものではなく、調査水深帯により大きく変動する。一方、重量組成でみると、有用魚種全重量1,368kgのうちアラが545kgで全体の40%を占めており、価格もキロ当たり3,000円前後と最重要魚種である。次いでカサゴ310kgで22.7%、ム

ツ 114 kgで8.3%、ハマダイ 109 kgで8%であった。

海域別では海丘の方が他の海域に比べて分布範囲が広く、比較的安定した釣獲率を示す。最も高い釣獲率を示したのは与那国西であるが生息範囲が限られている。1操業10尾以上の漁獲のあった海域は海丘で2カ所、与那国西2ヶ所、大陸棚斜面西部で1カ所、東部で1カ所であったが、東部の魚体は特に小型魚が主体であった。東部海域で小型魚が多かったことと、操業水深帯が210～240mと他海域に比べて浅い海域であったことと関連があるのかどうか、今後資料集積を行って検討してみる必要があろう。

アラの水深帯別漁獲尾数を図13に示した。アラの漁獲水深帯は200～550mの範囲で、多獲水深帯は250～300mと450～500mとなっていた。前者は海丘での同水深帯での操業回数が多いこと、後者は与那国西での同水深帯で多獲されたことによるもので、その主分布域は250～500mであろう。またアラの分布海域の海底地形は等深線が南向きに突出する傾斜がゆるやかなところ、あるいは台地状で起伏の小さいところであり、底質は泥質帯である。

アラの釣針別釣獲率は、海底に近い釣針での釣獲率が最も高く、海底から離れるに従って順次減少する(図14)。釣針No.1～No.5でのアラの釣獲率は89%を占めている。このことは、アラを漁獲対象とする場合は1本の立縄の釣針数は5本付でも充分であることを示すものであるが、サメ類、カサゴ類も比較的下層の釣針にかかる割合が高いことからこれらのことも考慮に入れながら検討してみる必要がある。

県外に出荷したアラのセリ価格は1,800～4,000円/kgで高価格魚であり、県外出荷用として開発すべき最重要魚種である。

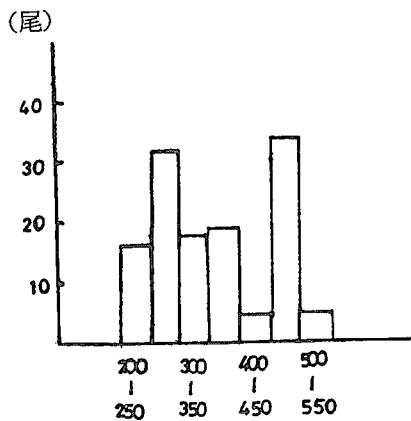


図-13 アラの水深帯別釣獲尾数

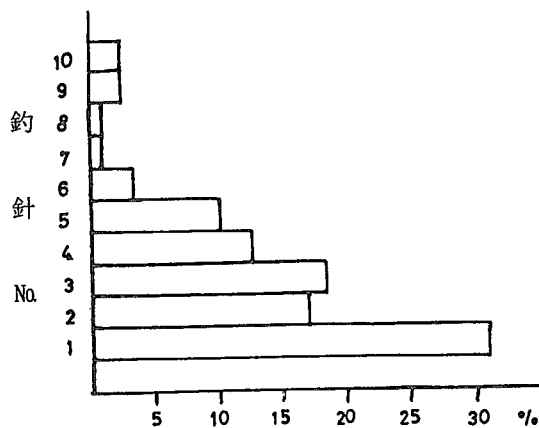


図-14 アラの釣針別釣獲分布

5. 要 約

- (1) 調査船図南丸を使用し、東支那海大陸棚斜面域でのアラ等の有用資源の漁場開発を目的として、その漁場分布調査を4航海(35回操業)実施した。
- (2) 有用魚種としてアラ、ユメカサゴ、ムツ、ハマダイ、ハチビキ、キダイ等が漁獲された。漁

獲尾数ではカサゴが最も多く全体の56.2%を占めるが、重量比ではアラが40%と最も多い。

- (3) 4海区におけるアラの平均釣獲率は0.2～0.6%であった。1操業ごとの釣獲率で最も高かった海域は与那国西であるが、同海域のアラの分布域は狭い。海丘は他海域に比べて分布範囲は割合広く安定した釣獲率を示す。
- (4) アラの漁獲される水深帯は200～550mで、250～500mが主分布水深帯である。
- (5) 底質は泥、砂泥底とみられ、ゆるやかな傾斜、または台地状で起伏の少ないところがよい。
- (6) アラの釣針別釣獲率(10本付)は海底に近い釣針ほど高く、No.1～No.5で全体の89%を占める。
- (7) アラの体長範囲は39～81cmで、平均65cm、4.3kgが主体をなす。
- (8) 県外でのセリ価格は1,800円～4,000円と高価格であった。

参 考 文 献

- 喜屋武 他、1984：東支那海大陸棚斜面における漁場開発調査、昭和57年度沖縄県水産試験場事業報告書、10-43。
- 金城 他、1986：東支那海南部陸棚域におけるキダイ調査、昭和59年度沖縄県水産試験場事業報告書、14-28。
- 久 貝 他、1988：底魚漁場調査(主としてレンコダイ漁場分布調査について)、昭和61年度沖縄県水産試験場事業報告書、1-13。

表1-1 第1次航海操業状況

操業 No. 操業年月日 漁場位置 水深(揚縄時) m 魚種名、尾数	1 88. 7. 15 N 26°-24.9' E 124°-58.5' 550 - 565	2 7. 15 N 26°-20.6' E 125°-01.8' 380 - 425	3 7. 16 N 26°-20.1' E 125°-04.2' 385 - 430	4 7. 16 N 26°-25.4' E 124°-54.5' 330 - 530	5 7. 17 N 26°-38.5' E 127°-13.8' 480 - 500	6 7. 18 N 26°-59.7' E 127°-27.6' 495 - 660
ム ツ	1	15	28			
アカムツ		1	6			
ナンヨウキンメ			1			
ハマダイ						
ハチジョウアカムツ						
ハチビキ		1			1	
アオダイ						
シマアオダイ						
ハナフエダイ						
キダイ						
マハタ						
アラ		14	2	6	2	
メダイ						
ツボダイ						3
ギンメダイ					3	17
ヒレナガカンパチ						
オアカムロ						
ハガツオ						
ゴマサバ						
ハナダイ SP						
マンザイウオ						
カゴカマス						
クロシビカマス						
アブラソコムツ						
アカアマダイ						
ヒメ						
エソ						
トウジン						
チゴダラ						
ユメカサゴ		43	8	8		
カサゴ SP						
ソコホウボウ						
ギス						
イットウダイ SP						
キントキダイ SP						
オキナワヤジリザメ						
ツノザメ類		9	25	8	64	21
その他のサメ類	28	5	36	44	25	41
ヨリトフグ						
ハモ類		1				
ウツボ類						
アナゴ類						
釣獲率 (%)	4.5	8.9	10.6	6.6	9.5	9.1
有用魚類 (%)	0.1	7.4	4.5	1.4	0.3	1.2
アラ (%)	0	1.4	0.2	0.6	0.2	0

表1-2 第1次航海操業状況

操業 No. 操業年月日 漁場位置 水深(揚縄時) m 魚種名、尾数	7 88. 7. 19 N 26°-51.9' E 127°-09.1'	8 7. 19 N 26°-50.2' E 127°-07'	9 7. 20 N 26°-49.4' E 126°-57'	10 7. 20 N 26°-45.4' E 126°-53.7'	11 7. 21 N 26°-19.3' E 124°-48.4'	12 7. 22 N 26°-29.6' E 125°-04'
ム ツ	41	7		9	3	
アカムツ						
ナンヨウキンメ	3	1	1	1		
ハマダイ						
ハチジョウアカムツ						
ハチビキ						
アオダイ						
シマアオダイ						
ハナフエダイ						
キダイ						
マハタ						
アラ					2	
メダイ						
ツボダイ	19	7	1			
ギンメダイ	12	14	4	18	1	
ヒレナガカンパチ						
オアカムロ						
ハガツオ						
ゴマサバ						
ハナダイ SP						
マンザイウオ			1			
カゴカマス				6		
クロシビカマス						
アブラソコムツ						
アカアマダイ						
ヒメ						
エソ						5
トウジン						
チゴダラ						
ユメカサゴ					32	
カサゴ SP						
ソコホウボウ					3	71
ギス						
イトウダイ SP						
キントキダイ SP						
オキナワヤヅリザメ						
ツノザメ類	8	2	25		34	114
その他のサメ類	33	59	9	21	31	1
ヨリトフグ						2
ハモ類						
ウツボ類						
アナゴ類						
釣獲率 (%)	11.6	9.0	4.1	5.5	10.6	19.3
有用魚類 (%)	6.3	1.5	0.3	1.0	3.7	0
アラ (%)	0	0	0	0	0.2	0

表2-1 第2次航海操業状況

操業 No. 操業年月日	1 88. 9. 7	2 9. 7	13 9. 13	14 9. 13	3 9. 8	4 9. 8	5 9. 9
漁場位置	N26°-24.2' E125°-02'	N26°-22.3' E125°-00'	N26°-21.5' E124°-59.8'	N26°-23.6' E125°-03.3'	N26°-16.6' E124°-39.7'	N26°-13.7' E124°-38.7'	N26°-06' E124°-43.8'
水深(揚縄時)m	460-550	280-320	335-380	275-290	285-350	675-830	385-390
魚種名、尾数							
ムツ	21	1	5				2
アカムツ		2	3	1			
ナンヨウキンメ	2						
ハマダイ		1					
ハチジョウアカムツ							
ハチビキ	11						
アオダイ							
シマアオダイ							
ハナフエダイ							
キダイ							
マハタ							
アラ	6	12	1	9	12		
メダイ	11						
ツボダイ	2						
ギンメダイ		1	1				
ヒレナガカンパチ							
オアカムロ							
ハガツオ							
ゴマサバ							
ハナダイSP	1						
マンザイウオ							
カゴカマス							4
クロシビカマス							
アブラソコムツ							
アカアマダイ							
ヒメ				1	2		
エソ							
トウジン						1	
チゴダラ							
ユメカサゴ	29	101	16	55	15		18
カサゴSP							
ソコホウボウ					14		8
ギス							
イトウダイSP							
キントキダイSP							
オキナワヤヅリザメ							
ツノザメ類		47	25	17	44		
その他のサメ類		5	4	4		1	3
ヨリトフグ					1		
ハモ類							
ウツボ類						2	
アナゴ類	3						
釣獲率 (%)	8.6	17.0	5.5	8.7	8.6	0.4	3.5
有用魚類 (%)	8.3	11.8	2.5	6.5	2.7	0	2.0
アラ (%)	0.6	1.2	0.1	0.9	1.2	0	0

表2-2 第2次航海操業状況

操業No. 操業年月日 漁場位置 水深(揚縄時)m 魚種名、尾数	6 88.9.9 N26°-05.4' E124°-42.4' 330-490	7 9.10 N25°-48.8' E124°-15.4' 260-265	8 9.10 N25°-47.3' E124°-23' 400-840	9 9.11 N25°-55.8' E124°-10.6' 195-200	10 9.11 N25°-56.2' E124°-06.8' 280-460	11 9.12 N25°-42.4' E124°-01.2' 285-320	12 9.12 N25°-46.3' E124°-04.3' 220-520
ムツ					2	1	
アカムツ			1			4	
ナンヨウキンメ							
ハマダイ		20		14			
ハチジョウアカムツ				1			
ハチビキ		1					
アオダイ							
シマアオダイ				6			
ハナフエダイ		2					14
キダイ		4		3	11	2	28
マハタ							1
アラ			1	2		2	
メダイ							
ツボダイ							
ギンメダイ							
ヒレナガカンパチ				1			
オアカムロ		1				12	
ハガツオ							
ゴマサバ						7	3
ハナダイSP							
マンザイウオ							
カゴカマス					8		
クロシビカマス							
アブラソコムツ					2		
アカアマダイ							4
ヒメ							
エソ							
トウジン					3		
チゴダラ					1		
ユメカサゴ			26	16	81	15	
カサゴSP				1			
ソコホウボウ	27	2	6	1		3	
ギス					1		
イトウダイSP				1			
キントキダイSP		2					
オキナワヤジリザメ					2		
ツノザメ類	27	4	7	30	22	7	
その他のサメ類	1			21	24		
ヨリトフグ							
ハモ類							
ウツボ類					3		
アナゴ類							
釣獲率(%)	5.5	3.6	4.1	9.7	16.0	5.3	5.0
有用魚類(%)	0	3.0	2.8	4.4	9.6	3.6	4.7
アラ(%)	0	0	0.1	0.2	0	0.2	0

表-3 第3次航海操業状況

操業 No. 操業年月日	1 88. 10. 21	2 10. 22	13 10. 23	4 10. 23	5 10. 24	6 10. 24
漁場位置	N24°-14.5' E123°-01.3'	N24°-37' E122°-32.4'	N24°-37.9' E122°-32.7'	N24°-38' E122°-28.2'	N24°-36.6' E122°-24.1'	N24°-34.5' E122°-32.4'
水深(揚縄時) m	330 - 730	460 - 470	455 - 480	480 - 630	460 - 635	480 - 515
魚種名、尾数						
ムツ	1				1	
アカムツ						
ナンヨウキンメ						
ハマダイ						
ハチジョウアカムツ						
ハチビキ						
アオダイ						
シマアオダイ						
ハナフエダイ						
キダイ						
マハタ						
アラ		17	3			10
メダイ						
ツボダイ						
ギンメダイ	3				1	1
ヒレナガカンパチ						
オアカムロ						
ハガツオ						
ゴマサバ						
ハナダイ SP						
マンザイウオ						
カゴカマス						
クロシビカマス	7					
アブラソコムツ	1					
アカアマダイ						
ヒメ						
エソ						
トウジン	2			1		
チゴダラ				2	1	2
ユメカサゴ		31	34	1	41	3
カサゴ SP						
ソコホウボウ						
ギス						
イットウダイ SP						
キントキダイ SP						
オキナワヤジリザメ	11					
ツノザメ類	5				1	
その他のサメ類	43	16	19	8	12	72
ヨリトフグ						
ハモ類						
ウツボ類						
アナゴ類	2					
釣獲率 (%)	7.5	6.4	5.6	1.2	5.7	8.8
有用魚類 (%)	1.2	4.8	3.7	0.1	4.2	1.3
アラ (%)	0	1.7	0.3	0	0	1.0

表4-1 第4次航海操業状況

操業 No. 操業年月日 漁場位置 水深(揚縄時) m 魚種名、尾数	1 88. 12. 20 N26°-33.7' E125°-09.9'	2 12. 20 N26°-35.6' E125°-09.8'	3 12. 21 N26°-42' E125°-19.3'	4 12. 22 N26°-41.9' E125°-26.9'	5 12. 22 N26°-24.2' E125°-08.7'	6 12. 22 N26°-24' E125°-05.5'
ムツ	3	4		1	13	2
アカムツ		2			10	
ナンヨウキンメ						
ハマダイ						
ハチジョウアカムツ						
ハチビキ			24			
アオダイ						
シマアオダイ						
ハナフエダイ						
キダイ		7	8			
マハタ			1			
アラ	3	4	13		3	2
メダイ						
ツボダイ						1
ギンメダイ						
ヒレナガカンパチ						
オアカムロ					17	1
ハガツオ						
ゴマサバ						
ハナダイ SP						
マンザイウオ						
カゴカマス						
クロシビカマス						
アブラソコムツ						
アカアマダイ						
ヒメ					1	
エソ						
トウジン						
チゴダラ						
ユメカサゴ	64	8		9	63	35
カサゴ SP			1			
ソコホウボウ	18	4	17	3		
ギス						
イトウダイ SP			1			
キントキダイ SP			2			
オキナワヤジリザメ						
ツノザメ類	53	32	57	52	45	34
その他のサメ類	45	10		2	5	10
ヨリトフグ						
ハモ類		1				
ウツボ類						
アナゴ類						
釣獲率 (%)	18.6	7.2	12.4	6.7	15.7	8.5
有用魚類 (%)	7.0	2.5	5.0	1.0	10.6	4.1
アラ (%)	0.3	0.4	1.3	0	0.3	0.2

表4-2 第4次航海操業状況

操業No 操業年月日 漁場位置 水深(揚縄時)m 魚種名、尾数	7 12.23 N26°-23.9' E125°-05.8' 270-535	8 12.23 N26°-24.2' E125°-01.8' 260-320	9 12.24 N26°-26.5' E125°-12.8' 240-315	10 12.24 N26°-24.4' E125°-16.6' 210-240		
ムツ	14	2	2			
アカムツ		5				
ナンヨウキンメ						
ハマダイ			5	56		
ハチジョウアカムツ						
ハチビキ	17	3	2			
アオダイ						
シマアオダイ						
ハナフエダイ			1	4		
キダイ						
マハタ						
アラ		4				
メダイ						
ツボダイ	1					
ギンメダイ						
ヒレナガカンパチ						
オアカムロ	5	3	22	2		
ハガツオ			1			
ゴマサバ			2			
ハナダイSP		1		1		
マンザイウオ						
カゴカマス						
クロシビカマス						
アブラソコムツ						
アカアマダイ						
ヒメ		1				
エソ						
トウジン	1					
チゴダラ	1					
ユメカサゴ	5	50	1	1		
カサゴSP						
ソコホウボウ						
ギス						
イトウダイSP						
キントキダイSP			4	4		
オキナワヤジリザメ						
ツノザメ類	8	5	192	52		
その他のサメ類	1	1	4			
ヨリトフグ			1	1		
ハモ類	2	2				
ウツボ類						
アナゴ類						
釣獲率 (%)	5.5	7.7	23.8	12.3		
有用魚類 (%)	4.2	6.7	3.7	6.8		
アラ (%)	0	0.4	0	0		